



Title	文副詞Seguramenteについての語法研究
Author(s)	長谷川, 信弥
Citation	Estudios Hispánicos. 2022, 46, p. 21-39
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/98062
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

文副詞 *Seguramente* についての語法研究

長谷川 信 弥

0. はじめに

本稿の目的は、スペイン語における文副詞のひとつとされる *Seguramente* の用法について、コーパスからの用例を観察することによって記述することである。これは長谷川（2018）の口頭発表の内容に用例を追加して採取し、記述するものである。また、長谷川（2021）ではカタロニア語（カタルーニャ語）における同副詞 *Segurament* をコーパスからの用例で観察し、用法を記述したが、結果的にスペイン語の *Seguramente* とのふるまいの違いが明らかになった。そのことについては本稿でも簡潔に記述するが、まず、スペイン語のこの語について、規範的な記述である *Real Academia Española* の文法書をはじめとする先行研究を確認し、日本における辞書での記述も概観し、その後、コーパスからの用例の検証をおこなう。

1. 考察対象

いわゆる文副詞と呼ばれる語は、代表的な *Afortunadamente*、*Desgraciadamente* や *A lo mejor* のような一語ではないものまでを呼ぶものとする。そのうえで、本稿ではとくに *Seguramente* のふるまいを観察するが、考察する事項としては、この語に続く命題における動詞の叙法選択を中心にみていくことにする。このほか、出現条件やこの語の意味の変遷にも関心が持たれるが、後者については、管見のかぎり網羅的な研究はみあたらず、この点も検証する必要があると思われる。というのは、*Seguramente* は、もととなる形容詞 *seguro* が文頭において *Seguro que* として用いられる場合に、*Seguramente* の意味内容とは異なった意味「たしかに～である」で用いられているためである。意味の変遷については、*seguro* が本来の意味である「たしかに」で用いられるときには、*Seguro que* として用いられ、意味の分化がみられ、*Seguramente* は「たしかに」から「おそらく」へと意味を変化させてい

ったと思われる。本稿では、通時的な変化の考察の前にすべきこととして、現在の意味がどのようなものであり、続く文における動詞の叙法選択の傾向を観察することに主眼を置く。

この語は、書き言葉でも話し言葉でもみられる語であると思われるが、たとえば Romeu (2017)¹ のような口語的な書き言葉においてよくみられる。

- (1) Seguramente sepas lo que es *embelesar*, pero..... [Romeu (2017 : 27)]
- (2) Seguramente no te será difícil localizar el lugar de donde han tomado el nombre estas palabras, ... [Romeu (2017 : 44)]

(1) では、接続法が選択されているが、この要因は *Seguramente* の持つ意味にあると考えられ、「たしかに」ではなく、*Tal vez* が接続法と共起する際の意味「おそらく」に近い、話者の確信度が高いとはいえない態度が示されているものと考えられる。一方、(2) では、命題の起こる可能性が高いことを示していると思われるために直説法が共起しているが、このことは、(1) の接続法とともに、両叙法の共起の要因が *Seguramente* にあり、両叙法が共起可能であることをも示している。しかし、叙法選択について、接続法が選択されている場合は、「おそらく」と訳出することが容易であると思われるものの、直説法での使用の際の意味が判定しづらいことが分析をむずかしくしている。また、推量などの用法を持つ時制であってもむずかしい場合もある。そのため、文脈の理解が不可欠で、たとえば、(3)² のように、この語に選択肢のある語句がある場合には「おそらく」の解釈が容易かと思われるが、推量の用法を持つ未来形が使用されている (4) でも「おそらく」なのか「きっと」なのかは判定しづらい。

- (3) El otro psiquiatra del manicomio era hijo del fusilado Manuel Ruiz Maya.
Era concejal teniente de alcalde del Ayuntamiento y falangista.

1 同著の本文では、文頭の *Tal vez* には接続法、*Seguro que* には直説法の動詞活用形が規則的に共起している。

2 これ以降の例文、特に複数行にわたる例文では、筆者によって下線が施されている。

Seguramente por Roldán o por el periódico local, se enteró de mi toma de posesión. A los pocos días se presentó en el Cuatro Naciones para saludarme. (CORPES)

『精神科病院のもうひとりの精神科医は銃殺されたマヌエル・ルイス・マヤの息子だった。彼は市の議員で助役のファランへ党員だった。おそらくはロルダンまたは地元紙によって私の就任のことを知ったのだ。数日後、Cuatro Naciones へ私に挨拶にあらわれた。』

- (4) *Seguramente* volveré a disfrutar de las playas españolas. (CORPES)

『きっとまたスペインの海を楽しむことであろう』

また、統語的には直後に接続詞 *que* をともなう場合もあり、この場合は文副詞としての機能がよりいっそう明確であると思われるが、(5)³ のような構文は今回の考察では対象外とした。

- (5) Claro está que esto nos sucederá una vez, la primera, luego la experiencia nos servirá de guía para situaciones similares. En estos casos resulta un error controlado ya que debido a que estamos atentos seguimos el caso de cerca, hasta arribar a un diagnóstico preciso.

¿Podemos afirmar que esta situación es un error médico?

Seguramente que no es como si se tratara de un descuido o una negligencia, pero es un pariente muy cercano del error,

以上のことをふまえ、この語のふるまいを観察するが、次章では規範的な文法書や記述文法での記述を確認していく。

2. 文法書、辞書の記述

2.1. NGLE (2009 : 2344-2355) [宮島 (2015 : 301-304)]

NGLE は文修飾の副詞 (*adverbios oracionales*) として一連の副詞をとりあげ、以下の分類を提示している。

3 対象外のため、訳文は省略。

1. Adverbios de la enunciación o del acto verbal

『発話行為の副詞』

Adverbios de la modalidad 『様態、態度の副詞』

Francamente, sinceramente, honradamente, etc.

2. Adverbios temáticos o de tópicos 『主題の副詞』

3. Adverbios del enunciado 『言明の副詞』

A. Evaluativos 『評価』

B. Modales o modalizadores 『モダリティー』

C. Evidenciales 『証拠性』

1. では、発話行為の副詞として *Francamente* 「正直に言う」となど発話行為のあり方を示す語を様態、態度の副詞に言及している。これらは、話者の態度にくわえて、聞き手に向かうものとしても用いることができるため、2. や3. であげられている語とは異なり、命令形や疑問文でも使用可能であることが記述されている。2. であげられる語は、命題を変更することなく、テーマの位置にある副詞としており、*Antiguamente* 「古くは」や *Económicamente* 「経済的には」などの例がとりあげられている。また、3. の言明の副詞としては、話し手の事柄の事実性についての判断をあらわす語があげられ、別項を立てて説明されている。このなかで、*Seguramente* のみについての記述は、以下の通りである。

“El adverbio *seguramente* no denota tanto seguridad como probabilidad alta, por lo que se agrupa más claramente con *quizá* o *posiblemente* que con *necesariamente*, con *seguridad* y otros que se describirán en el apartado siguiente : *Pero éramos pobres, los dos. Y yo, más que él, seguramente* (Orgambide, Otero).” (pp.2351-2352)

この記述からは、*necesariamente* や *con seguridad*、または別の項目で扱われている義務を表す *obligatoriamente* などよりも、*quizá* や *posiblemente* などが持つ意味に近く、確実性や高い蓋然性を示すものではないことがわかる。また、統語的な条件にも触れており、文末で文修飾する場合には休止が必要であるとしている。また、この記述のあとには、命題の真実性を保留する役目がある語のリストに *Seguramente* が入れられており、まだ疑問文の答えに

も使用でき、*Probablemente* のようにも使えるとしている。

2.2. GDLE (1999 : 755-758)

いわゆる「記述文法」GDLE では、*Posiblemente* や *Probablemente* とともに *Seguramente* が記述されているものの、それほど多くの記述があるわけではない。命題の真実性を表すスケールがあるとして、ほぼ否定の意味を持つ *Difícilmente* 「まず～しそうにない」から *certeza* 「確実」に近いところに *Seguramente* があるとして、直説法と共起することが記述されている。接続詞 *que* が後続することもあり、*poder* などとの共起も記述されている。また、注記ながら、以下の記述もみられる。

“...gran probabilidad, aunque no seguridad, de la cosa que se afirma, ... ; Barrenechea (1979 : 47) señala que no se relaciona con *seguro*, sino con *casi seguro*.” (GDLE, p.755, nota 81)

この記述では「たしかに」というより、むしろ「ほぼたしかに」や「おそらく」のほうが現状の意味としては近いことが示唆されている。

2.3. Barrios Sabater (2015)

Barrios Sabater (2015) は、*A lo mejor*、*Quizá(s)*、*Seguramente* について、*probabilidad* 「蓋然性」の意味での、主に口語での意味の分布を考察している。頻度としては、前者ふたつがほぼ同頻度に対して、*Seguramente* がその5分の1であるとし、この語の頻度の低さを指摘している。また、語用論的な意味も詳細に考察し、*Seguramente* が *A lo mejor*、*Quizá(s)* に比べ、高い蓋然性をしめすと結論づけている。とはいうものの、頻度に関して、後述(3.1.)するように、文頭では *Quizá(s)* に対する頻度はこの記述通りであるものの、*A lo mejor* との差はそれほどではないと思われる。

2.4. 諸文法書

日本で出版されている文法書またはそれに関する書籍の多くは、*Seguramente* と常に、または通常共起するのは直説法であると記述している。[西村 (2014)、廣康 (2016)、三好 (2016)]

2.5. 辞書記述

次に日本で出版されている諸辞書における意味の記述をそれらの発行年代順に確認する。

- (a) 『西和辞典 改訂版』[高橋正武編、白水社] (1979)

seguramente (s.v.)

安全に；たしかに。[俗] たぶん (=probablemente)

本辞書では例文の記載はなく、俗語として「たぶん」との記述もあり、「たしかに」との文体的な違いが意識された記述がみられる。

- (b) 『現代スペイン語辞典 改訂版』[白水社] (1999)

seguramente (s.v.)

1. [まれに+接続法] おそらく、たぶん：S～ saldré(salga)
esta tarde. 今日の午後はおそらく出かけます。¿Vendrás mañana?
-S～. 明日来るかい？ -たぶん。
2. 確かに。『con certeza』

本辞書では、接続法選択の可能性についての言及があり、さらに「おそらく」の記述が「確かに」に優先されている記述がみられる。

- (c) 『クラウン 西和辞典』[原誠他編、三省堂] (2005)

seguramente (s.v.)

- ① たしかに、きっと。-S～ nos estará esperando. 彼はきっと私たちを待っているだろう。
- ② たぶん、おそらく。-¿Llegarán sobre las cinco? -S～. 彼らは5時頃やって来るだろうか？ -たぶんね。[類] probablemente, acaso.
- ③ 確実に。-Si no lo sabes ～, cállate. それを確実に知っているのでないのだったら黙っていなさい。[類] con seguridad

一方で本辞書では、まず「たしかに」の記載があり、「たぶん」は後に続いている。また、例文から判断すると文末での意味の記述もされている点、ここまでの辞書との記述の違いである。

(d) 『プエルタ 新スペイン語辞典』[上田博人他編、研究社]（2006）

seguramente (s.v.) :

1. 《話》たぶん、おそらく、きっと. [英] *probably* // ☆*Podemos ir hacia la Puerta del Sol donde seguramente* ☆*encontraremos un restaurante a nuestro gusto.*

プエルタ・デル・ソルまで行けばたぶん私たちの気に入るレストランが見つかるでしょう。／／¿☆*Lloverá esta tarde?*—*Seguramente.*

今日の午後雨が降るだろうか。—たぶんね。

2. 確実に、確かに

▽*seguro*

本辞書では、話し言葉ではとの断りがあるものの「たぶん」の意味が優先的に記載され、かつ例文もこの語義のみにつけられていることがわかる。なお、末尾の記述「▽*seguro*」は、これが *seguro* からの派生関係にある語であることを表示している。

(e) 『西和中辞典 改訂版』[小学館]（2007）

seguramente (s.v.)

1 《主に+直説法》きっと；おそらく. *S ~ tendrás éxito.*

君はきつとうまくいくよ. *Ellos ~ vengan mañana.* 彼らは明日きつと来る. (▶動詞の直前で時に動詞は接続法).

Cuando me ponga enfermo, ¿me vas a ayudar?

—*S ~ sí.* 僕が 病気になったら助けてくれる? —もちろんさ.

¿*La selección japonesa ganará el partido?*—

S ~ no. 日本代表は試合に勝つだろうか. —きっと無理さ. ▶単独で返答として用いられる.

⇒¿*Vas a estar en casa esta noche?*—*S ~.* 今晚君は家にかい. —そのつもりだよ.

2 確かに、はっきりと. *No lo sabrá ~.* 彼〔彼女〕はそのことをはっきりとは知らないだろう.

3 無事に、安全に.

本辞書では、6つの例文があげられているが、接続法が共起する例文には、

接続法選択の統語的基準が記載されている点が特徴としてあげられる。

- (f) 『スペイン語大辞典』(2015) [山田善郎他監、白水社]
[アプリ ver.1.0.2 LogoVista 社 (2017-2018)]

seguramente (s.v.)

- ① [まれに+接続法] おそらく、たぶん：Os mostramos algunas novedades que ~ no conocías. おそらく君たちが知らないニュースをいくつか教えます。¿Va a venderlo?
-S-. 彼は売るだろうか？ -おそらく。
② 確かに [＝con certeza]：Si no lo sabes ~, no lo digas.
はっきりと知らないのなら黙っている

本辞書では、法選択の記述があり、まれに接続法が共起することを記載している。また、本辞書のアプリを用いて、この語を検索したところ、以下のような記述または例文があった。

- (i) averiguadamente (s.v.)

確かに [＝seguramente]

- (ii) estallar (s.v.)

Seguramente pronto *estallaría* la tormenta. きっとまもなく嵐が来る。

- (iii) extrañeza (s.v.)

Seguramente no sabía nada porque hizo un gesto de ~.

彼は不思議だという仕草をしたので、きっと何も知らなかったのだ。

- (iv) guante (s.v.)

echar el ~ a...

Mi reloj ha desaparecido de los vestuarios; seguramente entró alguien y *le echó* el ~. 私の時計がロッカールームからなくなった、誰かが入ってきてくすねたに違いない。

- (v) lucir (s.v.)

Seguramente se ha lucido, después de tanto presumir.

彼はあんな大きなことを言っしまい、失敗したと思っているに違いない。

(vi) *nada* (s.v.)

de ～

Seguramente para vosotros será una cuestión de ～.

きっと君たちにとってはそれは取るに足らない問題だろう。

(vii) *que* (s.v.)

Seguramente [～] *tardarán mucho.* きっと彼らはひどく遅れるだろう。

これらの例文のなかでは、(ii)、(iii)、(vi) あるいは (vii) では「きっと」、(iv) では「違いない」と訳出され、この語の意味が「たしかに」に近いものであると判断されていることがわかり、この語自体の項目での記述とのずれが感じられる。また、(vii) においてみられるように、*que* が後続することもあることが記述されている。

(g) ポケット型辞書

代表的なポケット型の辞書における記述を確認すると、『ポケットプログラミング』(2003) では、「1. 多分、おそらく. 2. 確実に、堅固に.」（例文は省略）との記述がみられ、また、『デイリーコンサイス』(2011) では、「1. たしかに、きっと. 2. たぶん、おそらく. 3. 確実に」との記述がみられ、後者はいわゆる親辞書である (c) の記述が踏襲されている。

(h) Real Academia Española 辞書

Real Academia Española が発行する各辞書での記述を簡潔にまとめると、まず、初の辞書である 18 世紀のいわゆる *Autoridades* では、“*Con seguridad, certeza ò sin riesgo.*” との記述がみられ、「おそらく」を示す語義はない。近年の辞書では、2001 年版は、“1. *De modo seguro.* 2. *Probablemente, acaso.*” と記述されているものが、2017 年版では“1. *Probablemente, acaso.* 2. *De modo seguro.*” となっており、提示順が逆になっている。このことは 2009 年発行の NGLE での記述に沿った変更がおこなわれたと考えられる。これ

らのことが示唆することは、18世紀では「おそらく」の意味はなく、意味の変化が生じたあとは、「たしかに」との両方の意味を有する状態が続き、近年ではその優劣が逆転したことである。意味の変遷については、興味深い現象であるため、詳細な研究が必要であるが、本稿では現在の意味の状況を考察の対象とするため、別の機会に考察する。

以上の文法書や辞書の記述から *Seguramente* の意味としては、「おそらく」と「たしかに」の双方がみられうることが予想される。後に続く命題での動詞が直説法の場合には、これらふたつの意味のどちらで用いられているかを容易に検証することはできないものの、接続法が選択されている場合は、「おそらく」の意味で用いられ、*Quizá(s)* や *Tal vez*、あるいは *Probablemente* などの意味に類似していると思われる。

次の章では、*Real Academia Española* の提供する大規模コーパス *CREA* から採取した例文を分析し、追加的に *CORPES* からの例をみていくことにする。

3. 用例 [*CREA*, *CORPES*]

3.1. 文頭

まず、*CREA* において確認できた各副詞または副詞句の数は次の通りである。今回は、文頭にあることを検索の条件に据え、地域もスペインに限った。

<i>Quizá(s)</i>	5873 [<i>Quizá</i> 4571, <i>Quizás</i> 1302]
<i>Tal vez</i>	2970
<i>Acaso</i>	1412
<i>A lo mejor</i>	1246
<i>Probablemente</i>	1170
<i>Seguramente</i>	915
<i>Posiblemente</i>	576

結果的に、*Seguramente* は数の上では *Posiblemente* を上回り、*A lo mejor*、*Probablemente* よりもやや少ないが、大きな数の違いはないように思われる。

3.2. Seguramente

Seguramente に限ってみると、CREA で後続する命題内の動詞の法時制は次の通りであった。

直説法	現在：	256	接続法	現在：	20
	点過去：	120		過去完了：	13
	線過去：	110		過去：	2
	未来：	96		現在完了：	1
	過去未来：	68			
	現在完了：	56			
	過去完了：	25			
	過去未来完了：	24			
	未来完了：	6			
	計	761		計	36

総数 797 例のうち、直説法は 761 例、接続法は 36 例であった。また、追加的に CORPES でも同様に検索した結果、2003 年から 2004 年の例だけで、次のとおりの結果が得られた。

直説法	現在：	74	接続法	現在：	11
	点過去：	34		過去完了：	4
	線過去：	42		過去：	0
	未来：	35		現在完了：	1
	過去未来：	21			
	現在完了：	12			
	過去完了：	12			
	過去未来完了：	6			
	未来完了：	2			
	計	238		計	16

総数 254 例のうち、直説法 238 例、接続法 16 例であった。両結果をまとめると、1051 例のうち、直説法 999 例、接続法 52 例であり、直説法が約 95 % に対し、接続法が約 5 % の出現率であることがわかる。また、年代による

ちがいもあまり感じられない結果であった。

これらの検索結果の数値は、前章で確認した NGLE の記述にほぼ沿うものであるといえる。つまり、接続法との共起は「たしかに」という確実性を意味すること考えにくく、むしろ quizá や posiblemente などが持つ意味「おそらく」や「たぶん」に近いのではないかと思われる。

3.3. 用例

ここからは各法時制ごとに採取された例文を観察していく。すべての法時制の例をあげることはせず、より考察の容易な例を示すことにする。

[1] 直説法現在

直説法現在と共起する場合は、「おそらく」とも「たしかに」とも、どちらの解釈も可能な文が多い。

- (6) Un barrio de señores, el mejor de Barcelona, allí nació mi madre y los padres de mi madre, que murieron en un bombardeo. Seguramente la semana que viene nos mudamos, así que ya lo sabe, cuando vuelva por aquí ya nos habremos dado el piro. Es lo más seguro. [CREA]

『バルセロナでもっとも高級な地区、そこで母や爆撃で亡くなった母の両親が生まれました。おそらく来週には、私たちは転居しているでしょう。おわかりのように、このあたりに戻ってこられるころには、私たちはもう逃げ出していることでしょう。それは確かなことです。』

(6) では、Seguramente が後続の la semana que viene だけを修飾し「おそらく来週には」との意味で、そのあとの nos mudamos には影響していない可能性があるうえに、最後の文で「確かな」が明確に表現されていることから、この解釈でも十分に成り立つと考えられる。この例文のように、直説法現在のある文では「おそらく」とも「きっと、たしかに」とも解釈できるケースがほとんどで判定はむずかしい。出現数からも、直説法現在の場合がもっとも多いため、このように解釈の判断がむずかしい例も必然的に多くなるといえ、文脈に依存しているといわざるをえない。

[2] 直説法線過去

- (7) - No sé decir, como ramas o troncos rompiéndose, aunque pudo ser cualquier otra cosa. He estado dándole vueltas, y cuanto más lo pienso menos claro lo tengo.

- *Seguramente*, la persona que mató a su amigo estaba huyendo en ese momento.

Mateo Salvia explotó en un nuevo arrebato de furia :

- ¡Sí, probablemente el ladrón estaba aún allí, podría haberte matado a ti [CREA]

『枝葉がばらばらになっていくようで、何と言っているかわからない、ちがうかもしれないが。考えるほどにわからなくなっている。』

「おそらく友人を殺した人はそのとき逃げているところだっただろう。」

マテオシルビアはふたたび怒りにふるえ声をあげた。「そう、おそらく泥棒はそこにいたのだろうし、君を殺すこともできただろうに…。』

(7) は、探偵小説の一節で、殺人の状況が推察されていると考えられる。ここでは、*Seguramente* のあとに *Probablemente* も同様に用いられていて、ともに「おそらく」の意味であると考えられる。このように直説法線過去であれば、文脈次第ではあるものの、「おそらく」の意味であるとの推察が比較的容易である。

[3] 直説法未来

- (8) Vamos a la publicidad. *Seguramente*, algunos de ustedes recordarán que la semana pasada visitó nuestro país el presidente de Bolivia, Jaime Paz Zamora. Fue muy amable con este programa porque lo último que hizo antes de marcharse de España fue aceptar una entrevista con nosotros, que grabamos al final del programa de la semana pasada, y que ahora vamos a ofrecerles a ustedes. [CREA]

『広告ですが、おそらくみなさんのなかには先週ボリビアの大統領ハイメ・パス・サモラが我が国を訪問しことを覚えてらっしゃるでしょう。スペインを去る前の最後にこの番組へのインタビューに応じてくるという好意を示してくれました。これから録画したものをお伝えします』

(8) はテレビ番組の司会者による視聴者への番組内容についての案内の際の発言で、未来形が用いられていることや「みなさんのなかには」と視聴者全員を断定しているわけではないことから、「おそらく」と訳出できると思われる。しかし、この場合も「きっと」でも文意は通じるため、発言者自身の態度の確認が必要であると考えられる。

[4] 直説法過去未来

- (9) Sí, parece que hay una tendencia importante en este sentido. Pero es una aventura de consecuencias muy complicadas. En Italia se reformó la ley electoral, y no se ha eliminado la inestabilidad. No hay que atribuir a la ley virtudes terapéuticas que no tiene. Seguramente sería un error tremendo, ya que la norma actual permite la integración de fuerzas menores que de otra manera no estarían en el Parlamento. [CREA]

『ええ、この意味で強い傾向があるようだ。しかし、むずかしい結果の賭けだ。イタリアでは選挙制度改革があったが、不安定さが排除されなかった。法律に治癒能力を委ねてはならない。これはおそらく大きなミスであっただろう。というのも、現行は、議会にはいなかったであろう少数の力の結集が許されているのだから。』

(9) の過去未来でも前項同様で、文脈からの解釈が必要であると思われる。これは選挙制度に関する対談を報じた新聞記事であるが、断定する特段の表現がみあたらなければ、とくに過去の推量を表す過去未来形であると判断し、「おそらく」の訳語をあてることができるものと思われる。

[5] 接続法現在

- (10) Ellos (= Truffaut, Kurosawa, Bergman y Fellini) eran los mejores del mundo porque sabían cómo contar historias muy buenas. Desgraciadamente el público de mi país está más interesado en las estrellas que en una buena historia.

Seguramente sea Pedro Almodóvar quien mejor ha sabido conectar, como pocos, con el público de EEUU. De todas formas el cine extranjero ya no tiene el poder de antes. [CORPES]

『彼ら（トリュフォー、黒澤、バーグマン、フェリーニ）は世界で最もす

ぐれていた。というのもとてもよいストーリーをどうやって語るのかを知っていたからだ。残念なことにこの国の大衆はよいストーリーよりも映画スターのほうに興味がある。おそらく、ほかでもないアメリカの大衆と結びつけることを知っていたのはペドロ・アルモドバルであろう。いずれにせよ。外国映画は以前ほどの力量をすでに持っていないのだ。』

- (11) No en vano, aún queda mucho camino por recorrer para conseguir la igualdad real entre los sexos. *Seguramente*, usted tenga conocidos en su entorno que se encuentran en el paro. Tal vez usted mismo sea uno de los más de 3 millones de parados que existen en nuestro país. [CREA]
『たとえ、男女間の性のほんとうの平等を得るまでには長い道のりがあるだろうが、無駄ではないだろう。おそらくあなたはまわりに失業中の人がいるであろう。おそらくあなた自身、この国にいる 3 百万人の失業者のひとりであろう。』

(10) は映画監督についての評論で、歴代の著名な監督とアルモドバルを比べているが、前後の語句を勘案しても、*Seguramente* が直後の接続法が共起させていることは明白で、それゆえ「おそらくは」の意味で解釈することが妥当だと思われる例である。数は多くないものの、接続法が用いられる場合があることは、この語が「たしかに」という確実性の意味を持っているというよりも、*Posiblemente* などの意味に近似しているといえるであろう。また、(11) は男女同権の話しのなかで、あとの文において、*Tal vez* と接続法が共起していることから、*Seguramente* がこれと同じ語として用いられていることがわかり、ここでも「おそらく」の意味で用いられているといえる。

[6] 接続法現在完了

- (12) Y él, para no quitar mérito a ninguna de sus dos elecciones, replicó :
«*Seguramente* se haya pasado un poquito de ayer a hoy». Yo no pude evitar mirarle y sonreírme mientras él se mantenía en sus trece.
『そして、彼は、自分の 2 回の選挙のどちらの実績をも奪われないように反論した。「おそらく短い間に少し変わってしまったのだろう。」彼がかたくなになっているあいだ、私はどうしても彼を見つめ、微笑まざるを得なかった。』

(12) で用いられている接続法現在完了でも、現在と同様に推測をおこなっていることが文脈から判断できる。

[7] 接続法過去完了

- (13) Después, gracias al enorme avance que supuso el descubrimiento del doctor Fleming en los años cincuenta, la tranquilidad llegó a muchos hombres temerosos. Seguramente la libertad sexual de la década de los sesenta no hubiese sido tan promiscua de no existir la penicilina.

『のちに、50年代のフレミング博士の発見によって進んだ大いなる進歩のおかげで、びくびくしていた男たちに安堵が訪れた。おそらくは、60年代の性的自由は、ペニシリンの存在なしには、あれほどまでに乱れていたことはなかったであろう。』

(13) では接続法過去完了が用いられ、過去の事実の反する条件の帰結を表している。Seguramente が接続法を引き起こしているとはいえないかもしれないものの、60年代を推測している点で「おそらく」の訳語をあてることができると思われる。

4. カタロニア語 Segurament

ここでは長谷川 (2021) で記述したカタロニア語 (カタルーニャ語) における Segurament のふるまいについて簡潔に記載する。この語は、スペイン語 Seguramnte と同語源であり、もととなる形容詞 segur のふるまいはスペイン語と同じであるものの、文副詞としては対照的な様相を呈している。そもそも「おそらく」など疑惑を表す副詞にスペイン語の Quizá(s)、Tal vez、Acaso と同語源の語はなく、口語では tal vegada のような、今日ではスペイン語的だとして使用を避けるよう推奨されている表現を除けば、pot-ser などいくつかの表現が「たぶん」として、スペイン語の A lo mejor に相当するとされている。また、-ment 副詞は、スペイン語の -mente 副詞と同じ形態的条件で形容詞から派生され、posiblemente や probablemente などがそれにあたる。

さて、文副詞の Segurament は、カタロニア語の規範文法では接続法との共起が推奨されず、常に直説法とともに用いるべきであるとされ、NGLE が

記述するスペイン語のそののふるまいとはことなることが示唆されている。そのことをふまえ、カタロニア語の大規模コーパスで用例を採取した結果、やはり接続法との共起はほとんどないことがわかった。一方で、時制に関しては、直説法現在との共起が多く、直説法完了過去（スペイン語の線過去）、未来、完了過去（スペイン語の点過去）がスペイン語の場合と同じ傾向であらわれていた。接続法との共起がみられない理由としては、規範文法ではスペイン語との差異化が意識されているためではないかと推測される。通時的な変化を詳細に検証しないかぎり確定的なことはいえないが、スペイン語での叙法選択に変化が起きたのが近年のことであるとすれば、そのことが意識され、規範では従来からの直説法選択をあえて推奨することで、カタロニア語としての独自性を担保しようとしているのかもしれない。コーパスでの検証は、そのほとんどが書き言葉からの用例にもとづいているため、口語での検証が必要ではあるが、少なくともスペイン語とは異なる、このような傾向がみられることは指摘できる。

5. 結論

前々章まで用例を観察することで得られた結論は、NGLE の記述にみられるように、*Seguramente* の意味内容の多くは「おそらく」を示し、*Probablemente* などと同列の文副詞として機能していることが確認できたことである。もともとは「たしかに」や「きっと」を意味する、話し手の感じる確実性を表現していたものが、「おそらく」や「たぶん」の意味に近づき、それが現在の意味として定着しつつといえそうである。そのことが観察できるのは文脈からの判断による場合が多いといえるが、接続法との共起が、多くはないものの、一定数みられることも理由として考えられる。他の語ではなく、あきらかに *Seguramente* の意味内容に応じて接続法がみられることが用例の分析からわかる。このことが辞書や諸文法書の今後の記述についてもならんかの提案ができるものと思われる。

本稿において、*Seguramente* に関する考察の対象は、主に叙法選択についてであったが、その統語条件、つまり、文頭だけでなく文中でのふるまい、またそれらの場合の修飾関係にも関心が持たれる。また、さらに大きな関心事として、意味の変遷や *Seguro que* との意味の分化についても検証が必要であると思われる。さらなる課題としては、*Probablemente*、*Posiblemente* や

A lo mejor などの語との意味の差異がどれほどのものかを記述することもあげられる。また、接続法過去の適例をあげることができなかったが、これは検索数が少なかったためである。これらの点は別の機会に考察することとする。

参考文献

- Barrios Sabater, María José (2015) “Variabilidad del discurso oral : el caso de *seguramente*. Un análisis comparativo con *quizá(s)* y *a lo mejor*” VERBA HISPANICA, XXIII, Departamento de la Lengua y Literatura Españolas de la Facultad de Filosofía y Letras de la Universidad de Ljubljana. págs.61-86. <https://revije.ff.uni-lj.si/VerbaHispanica/article/download/5926/5656/> DOI : 10.4312/vh.23.1.61-86 [最終アクセス日 2022 年 1 月 11 日]
- GDLE = Kovacci, Ofelia “El adverbio”. en Bosque, Ignacio. & Demonte, Violetta (eds.) (1999) *Gramática descriptiva de la lengua española*. Vo.I, págs.755-758. Espasa Calpe.
- NGLE = Real Academia Española y Asociación de Academias de la Lengua Española (2009) *Nueva gramática de la lengua española*. Sintaxis II. Espasa Libros.
- 西村君代 (2014) 『中級スペイン語読みとく文法』白水社
- 長谷川信弥 (2021) 「カタルニア語の文副詞 Segurament に関する語法研究」『ヨーロッパ超域研究 2』大阪大学言語文化研究科言語社会専攻
- 廣康好美 (2016) 『NHK 出版 これならわかるスペイン語文法 入門から上級まで』NHK 出版
- 宮島敦子 (2015) 「新文法 第 30 章 副詞と副詞句」『『スペイン語記述文法』(1999) 『スペイン語新文法』(2009) 『スペイン語新文法 音声学・音韻論』(2011) 章別和文要約 6』, pp.289-309, *Linguística Hispánica* Anexo 6, 関西スペイン語学会
- 三好準之助 (2016) 『日本語と比べるスペイン語文法』白水社
- 山田善郎監修 (1995) 『中級スペイン文法』白水社

辞書 [出版年順に記載]

- Autoridades = Real Academia Española (1726-1739) “*Diccionario de Autoridades*”
- Real Academia Española (2001) “*Diccionario de la lengua española*” 22.ed.
- Real Academia Española (2017) “*Diccionario de la lengua española*” 23.ed.

文副詞 *Seguramente* についての語法研究（長谷川）

（上記辞書はすべて <https://www.rae.es/> で閲覧可能）

高橋正武（編）『西和辞典 改訂版』（1979）白水社

宮城昇（他監）『現代スペイン語辞典 改訂版』（1999）白水社

原誠（他編）『クラウン 西和辞典』（2005）三省堂

上田博人（他編）『プエルタ 新スペイン語辞典』（2006）研究社

高垣敏博（監）『西和中辞典 第2版』（2007）小学館

山田善郎（他監）『スペイン語大辞典』（2015）白水社

[スマートフォンアプリケーション ver.1.0.2 LogoVista 社（2017-2018）]

コーパス

CORPES = REAL ACADEMIA ESPAÑOLA : Corpus del Español del Siglo XXI (CORPES) [en línea] <<https://apps2.rae.es/CORPES/view/inicioExterno.view>> [最終アクセス日 2022 年 1 月 16 日]

CREA = REAL ACADEMIA ESPAÑOLA : Banco de datos (CREA) [en línea]. *Corpus de referencia del español actual*. <<http://www.rae.es>> [最終アクセス日 2018 年 10 月 25 日]

資料体

Romeu, Juan (2017) *Lo que el español esconde*. LAROUSSE EDITORIAL